



〒584-0078  
大阪府富田林市加太 2-7-7  
TEL/FAX:072-368-3135  
E-mail user@ut-net.jp https://ut-net.jp

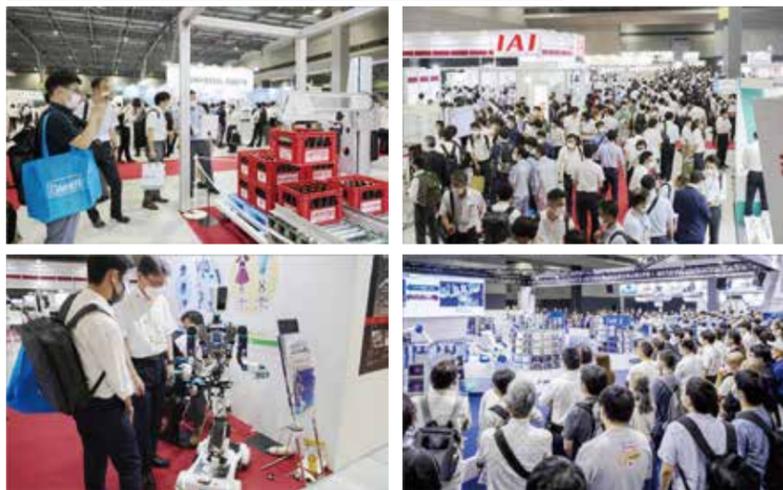
令和6年6月29日発行(第266号)毎月5日発行(特別号)  
年間購読料6,000円発行所株式会社ユーザー通信社 発行人 植村和人

**MEASUREMENT PRIDE**  
精密測定機器  
**UNO 宇野株式会社**  
URL <http://www.uno.co.jp/>

### 今年度最大級の産業用ロボ・自動化システム専門展 RTJ2024(ロボットテクノロジー・ジャパン)開幕!

7月4日からAichi・Sky・Expo  
(常滑市)で/244社・団体が出展

▼前回2022年展(第1回)のようす。41,880人が来場した



併催イベントは「ワールドロボットサミット」記念シンポジウム  
「World Robot Summit (WRS)」が開催されることを記念し、ものづくりの未来をテーマとしたシンポジウムを

さらに、人手不足対策として自動化へのニーズが高まる物流や食品、包装分野向けのロボットを活用した自動化提案など、見どころも多彩。ロボットの現場設置やシステム構築を担うシステムインテグレーターが集まる「Sier(エスアイアールゾーン)」では、実践的で現場の用途に近い「ロボットの使い方」を提案する。

ユーザー通信オンライン  
<https://ut-net.jp>

紙面掲載以外の記事はこちらで!



会期中に、安川電機が実施するセミナーでは、ロボットメーカーが描く現場の将来像や、厳しい条件で自動化に取り組みユーザーの事例などを講演。主催者企画展示として、前回展に続き「産業用ロボット体験ゾーン」を設ける。セミナーの予約には、事前来場登録が必要。  
また、併催イベントとして、来年(2025年)に愛知県で「World Robot Summit (WRS)」が開催されることを記念し、ものづくりの未来をテーマとしたシンポジウムを

産業用ロボットと自動化システムの専門展「ロボットテクノロジー・ジャパン2024(ROBOT TECHNOLOGY JAPAN RTJ)」が、7月4日(木)~6日(土)までの3日間、愛知県常滑市のAichi・Sky・Expo(愛知県国際展示場)で開催される。  
主催は、雑誌「生産財マーケティング」の発行や、工作機械見本市「メカトロテックジャパン(M

### 「工作機械+自動化システム」を 「ポリニューミー」に展開

併催イベントは「ワールドロボットサミット」記念シンポジウム

「E.C.T.」の主催でもおなじみの、ニュースダイジェスト社(名古屋千種区、樋口八郎社長)で、愛知県機械工具商業協同組合(愛機工)水谷隆彦理事長(ミズタニ二機販社長)が共催する。

今年度は、2022年の第1回を上回る244社・団体が出展し、1320小間(前回展は1096小間)の規模で、産業用ロボットや自動化システムに特化した展示会として、西暦の奇数年に東京で開かれる「国際ロボ

併催イベントは「ワールドロボットサミット」記念シンポジウム  
「E.C.T.」の主催でもおなじみの、ニュースダイジェスト社(名古屋千種区、樋口八郎社長)で、愛知県機械工具商業協同組合(愛機工)水谷隆彦理事長(ミズタニ二機販社長)が共催する。

お客様の満足と生産性向上を目指し  
最適な商品サービスをご提案します。

代理店・特約店  
京セラ MOLDINO イスカル オーエスジー 住友電気工業 不二越 サンドビック 日研工作所 三菱マテリアル 東洋製作所 テグテック ダイジェット 林業工具 ウルター

TKD 株式会社 タケダキカイ

京都営業所 ☎075-661-1811 FAX.075-661-1824  
徳島営業所 ☎0749-26-1801 FAX.0749-26-1803  
松方営業所 ☎072-849-1888 FAX.072-849-1808  
愛東営業所 ☎077-552-7361 FAX.077-552-7371  
岐阜営業所 ☎0584-77-5347 FAX.0584-77-5348  
三浦営業所 ☎0595-26-2730 FAX.0595-26-2731  
尾崎営業所 ☎06-4950-0416 FAX.06-4950-0417  
北野営業所 ☎0761-24-0991 FAX.0761-24-0992

そのお悩み  
**ヤスダの自動化**  
で、カイケツだ!

自動化で働き方改革に対応しつつ、人材不足も解消したい  
高精度加工で誰でも同じ品質を出せるようにしたい  
24時間有効にマシンを活用し、生産性をあげたい  
自社でいったいどんな自動化ができるか知りたい

精度にこだわるヤスダだからこそできる  
自動化の提案をぜひブースにて!

1 営業&技術スタッフによる「YASDAならではの自動化」についてのわかりやすいプレゼンテーション  
2 豪華ノベルティが当たる「ぼっけえガチャ」

小間番号 **D22**

※今回実機の展示はございません

**ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024** 7.4(木)-6(土) 10:00-17:00 6日は16時まで

**YASDA** 安田工業株式会社 [www.yasda.co.jp](http://www.yasda.co.jp)  
〒719-0303 岡山県浅口郡里庄町浜中1160  
TEL.0865-64-2511(代) FAX.0865-64-4535



# 「カリスマ to カリスマは不可能」 メリットの継承と発展が責務

大山晃弘社長



▲「創業者の知識・経験・情熱は引き継げない」と大山晃弘社長



▲中山理事長

中山理事長は「創業の知識・経験・情熱は引き継げない」と大山晃弘社長が述べた。中山理事長は、今年度の事業および予算計画等の議案が...

**ユーザー通信オンライン**  
<https://ut-net.jp>

紙面掲載以外の記事はこちらで!

## アイリスオーヤマ社長が講演

大阪機械器具卸商協同組合(中山哲也理事長)とトラスコ中山社長は5月21日、大阪・心斎橋のホテル日航大阪で、第52回通常会員総会と講演会を開催した。

中山理事長は「創業の知識・経験・情熱は引き継げない」と大山晃弘社長が述べた。中山理事長は、今年度の事業および予算計画等の議案が...

中山理事長は「創業の知識・経験・情熱は引き継げない」と大山晃弘社長が述べた。中山理事長は、今年度の事業および予算計画等の議案が...

# 大機器協通常会員総会 今期は直需ルートを深耕・強化(国内)、地域特性に応じた新製品投入(海外)に注力



▲決算会見に臨む(中央)高柳部長、(右)有吉副部長、(左)木村室長

高柳部長は、「最大の要因は、国内売上の大幅減。5億円減と足を引張った。海外は円安影響も含め約6千万円増」とし、収益面では、売上原価率の悪化も加わった。純利益の赤字について

高柳部長は、「最大の要因は、国内売上の大幅減。5億円減と足を引張った。海外は円安影響も含め約6千万円増」とし、収益面では、売上原価率の悪化も加わった。純利益の赤字について

高柳部長は、「最大の要因は、国内売上の大幅減。5億円減と足を引張った。海外は円安影響も含め約6千万円増」とし、収益面では、売上原価率の悪化も加わった。純利益の赤字について

高柳部長は、「最大の要因は、国内売上の大幅減。5億円減と足を引張った。海外は円安影響も含め約6千万円増」とし、収益面では、売上原価率の悪化も加わった。純利益の赤字について

高柳部長は、「最大の要因は、国内売上の大幅減。5億円減と足を引張った。海外は円安影響も含め約6千万円増」とし、収益面では、売上原価率の悪化も加わった。純利益の赤字について

高柳部長は、「最大の要因は、国内売上の大幅減。5億円減と足を引張った。海外は円安影響も含め約6千万円増」とし、収益面では、売上原価率の悪化も加わった。純利益の赤字について

## 決算説明会 ダイジェット工業

売上高に占める輸出割合が57%に

ダイジェット工業(本社)は、大阪府平野区、生悦住歩社長は5月15日、大阪市天王寺区のシェラトン都ホテル大阪で、2024年3月期(第98期)の決算説明会を開き、高柳文雄営業部長、有吉則則営業副部長兼大阪支店長、木村聡営業企画室長が出席した。

業績については、連結売上高は前年同期比5.2%減の83億4400万円、営業利益は同61.1%減の1億1200万円、経常利益は同44.2%減の1億7400万円、当期純損失は1億3100万円の減収減益となった。

高柳部長は、「最大の要因は、国内売上の大幅減。5億円減と足を引張った。海外は円安影響も含め約6千万円増」とし、収益面では、売上原価率の悪化も加わった。純利益の赤字について

いつまでも「昭和」思考は続かない。

新しい力は新しいやり方で力を発揮する。  
 勢いある新世代の力をオールパワーがしっかり支えて  
 次世代に引き継いでいく。

エーレックは、人生100年時代を見据えた  
 人材の価値提案を行っています。

【労働者派遣事業】  
 御社のニーズを汲み取り、最適な人材を派遣

【フィールドメンテナンス事業】  
 家電・OA機器のメンテナンスサービスを提供

**A-rec** 【労働者派遣事業 アウトソーシング事業】株式会社エーレック  
 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原 1-8-33 日宝新大阪第2ビル3階  
 TEL:06-6392-8851 FAX:06-6392-8853

エーレック 検索 <https://www.a-rec.jp>

ものづくり産業  
「ライナーノーツ」



ツーリングコンシェルジュ・清水浩の『工具需要の視点』特別編 ④

リーマの理論上でのビバリ対策とは異なる不等分に「似て非なる形状」の考え

私が認める不等分刃は【図3】です。1箇所(A-A)はマイクロメータで測定できるように、朱記マーキング(※モノクロ掲載なのでわかりにくいですが)されたドイツ製の現物でした。理論的で実用的な考えで、ドイツの技術者らしいと感心した記憶があります。

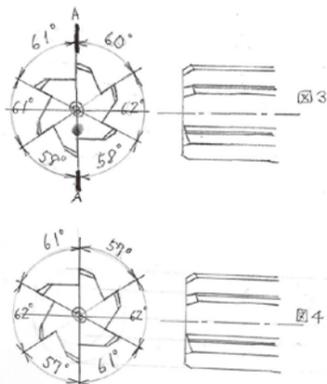
一方、【図4】を不等分として設計製作しているメーカーがありますが、各切れ刃の正面に切れ刃があるので、外径測定は容易です。しかし、対面に切れ刃があり、理論的なビバリ対策の本来の考え方とは異なるので、不等分に「似て非なる形状」と考えられます。

リーマ加工による精度を高めるには、「取り代は可能な限り少なく」、「送り速度は低く」、「リーマの刃数はでき

るだけ多く」、「比較的低い切削速度」などが常識的な対策になります。この中で、内径寸法は栓ゲージで通り、止まりを確認することが一般的かと思いますが、実は、リーマによる内径は多角形になることが多いのです。

したがって、栓ゲージや内径マイクロメータ、エアマイクロメータ、電気マイクロメータ、といった測定工具によって評価が異なるので、事前に測定方法を定める必要があります。作業員によって選択を任すと混乱を起こすので、ワーク検査上の大切なルールです。

リーマは、前段のように幅広く使用される特殊な工具です。現実な情報を述べ、利用者の考えも踏まえながら、



リーマ技術資料として拡充していきます。(続く)

〈清水浩〉

三菱マテリアル 各地で「DIAEDGE特約店会」開催

今期売上高19年比26%増を計画、国内販売強化へ

三菱マテリアルは5月14日から22日にかけて、国内流通特約店会である「2024年DIAEDGE特約店会」を、大阪・福岡・東京・名古屋の順で、代理店23名の計80名社、代理店23名の計80名社の事業展開として、開催した。

このうち、14日の近畿北陸ブロックは、帝国ホテル大阪(大阪市北区)を会場に開催、特約店57名、代理店23名の計80名社、代理店23名の計80名社の事業展開として、開催した。

最初に、同社執行役員常務の小原和生加工事業部長が挨拶し、DIAEDGEの現状と今後の展開について、最新の取り組みや、製造現場での安全教育、設備の安全化を推進していることなどを報告した。

さらに、今期の基本方針として、「小物高精度加工に注力し、インサートやドリル、エンドミルの成長を加速。2024年度超硬事業の売上は19年比で26%増を計画し、国内販売を強化していく」と強調。中でも、業界トップレベルの技術を詰め込んだ革新的な材料種、ターニング加工用コートド超硬材種「MC510

「今後は金属事業、高機能製品、加工事業に投資を集中する。加工事業の売上は全社の8%だが、経常利益は24%を占めており、主要事業として存在感を示している」と述べた。

次いで、人事異動・組織変更を報告した後、資源循環・サステナビリティ

独タンクステン製品メーカー買収を速報 「タンクステン素材で世界最大級の供給メーカーとなり、グローバル事業拠点を確立」

小原加工事業カンパニープレジデント



▲小原氏



▲藤林氏

の取り組みについて、「超硬工具のリサイクル原料比率の目標として、2030年度までに80%以上にしていく。また、クリーン工場や環境調和製品の提供等に加え、製造現場での安全教育、設備の安全化を推進している」と報告した。

さらに、今期の基本方針として、「小物高精度加工に注力し、インサートやドリル、エンドミルの成長を加速。2024年度超硬事業の売上は19年比で26%増を計画し、国内販売を強化していく」と強調。中でも、業界トップレベルの技術を詰め込んだ革新的な材料種、ターニング加工用コートド超硬材種「MC510

効果的な拡販施策を推進していく」と話し、「売上高15%アップ、実質20%増の予算を達成したい」と示した。

と、ここで急遽、小原加工事業カンパニープレジデントが再び登壇し、ドイツのタンクステン素材メーカー「H.C. Steinhilber」(Eck Holding)の買収について基本合意したことを、速報した。

「これにより当社は、タンクステン素材における世界最大級の供給メーカーとなり、日本、欧州、北米、中国のグローバルな事業拠点を確立することになった。今後は、国内グループ会社の日本新金属とともにシナジーを高め、さらなる成長を遂げる」と話し、受注に繋げていきたいと話した。

「関西での設備投資意欲は高い(西川産業 西川社長)」

初日開場前に行われた開会式では、はじめに主催店78社を代表し、西川産業・西川正一社長が、「第47回となる大阪どてらい市は展示規模を拡大し、各業界を代表する出品メーカー各社と我々主催店が一体となり、最高のパフォーマンスでお客様を迎えたい」とあいさつした後、次

「2024大阪どてらい市」目標上回る実績136億円超受注

「時代に即した展示で景気の背中を押すのが、どて市」

山善・岸田社長



▲開会式でのテープカット。右から1番目が岸田社長(山善)、同2番目が大沢社長(オーエスジー)、同7番目が西川社長(西川産業)



▲会場を賑やかに盛り上げた「どて市囃子隊」

生産財と消費財の展示商談会「2024大阪どてらい市」が5月16日、17日、18日の3日間、大阪・南港のインテックス大阪で開催され、11889人が来場し、目標130億円を上回る136億円超の受注を達成した。

今回は、「駆け上がり、さらなる高みへ」をテーマに、主催店78社(生産財部門63社、消費財部門15社)、出品メーカー351社、約1000小間の規模で催され、各コーナーで積極的な提案、実演が行われた。

展示スペースを大幅に拡充し、機械・産業機械・工具・住設建材の各コーナーに加え、産業界が直面する人手不足、エネルギー問題といった課題への解決策を提案した「測定・自動化」「脱炭素」「物流」の3つのテーマゾーンを展開した。

「関西での設備投資意欲は高い(西川産業 西川社長)」

初日開場前に行われた開会式では、はじめに主催店78社を代表し、西川産業・西川正一社長が、「第47回となる大阪どてらい市は展示規模を拡大し、各業界を代表する出品メーカー各社と我々主催店が一体となり、最高のパフォーマンスでお客様を迎えたい」とあいさつした後、次

「これにより当社は、タンクステン素材における世界最大級の供給メーカーとなり、日本、欧州、北米、中国のグローバルな事業拠点を確立することになった。今後は、国内グループ会社の日本新金属とともにシナジーを高め、さらなる成長を遂げる」と話し、受注に繋げていきたいと話した。

「関西での設備投資意欲は高い(西川産業 西川社長)」

初日開場前に行われた開会式では、はじめに主催店78社を代表し、西川産業・西川正一社長が、「第47回となる大阪どてらい市は展示規模を拡大し、各業界を代表する出品メーカー各社と我々主催店が一体となり、最高のパフォーマンスでお客様を迎えたい」とあいさつした後、次

「関西での設備投資意欲は高い(西川産業 西川社長)」

初日開場前に行われた開会式では、はじめに主催店78社を代表し、西川産業・西川正一社長が、「第47回となる大阪どてらい市は展示規模を拡大し、各業界を代表する出品メーカー各社と我々主催店が一体となり、最高のパフォーマンスでお客様を迎えたい」とあいさつした後、次

「関西での設備投資意欲は高い(西川産業 西川社長)」

初日開場前に行われた開会式では、はじめに主催店78社を代表し、西川産業・西川正一社長が、「第47回となる大阪どてらい市は展示規模を拡大し、各業界を代表する出品メーカー各社と我々主催店が一体となり、最高のパフォーマンスでお客様を迎えたい」とあいさつした後、次

**産業・工業・機械**  
**基板用硝子**

耐熱用硝子  
電子用硝子  
石英硝子

光学研磨硝子  
パイレックス  
バイコール

**平岡特殊硝子製作株式会社**  
〒550-0013 大阪市西区新町4-7-8  
TEL. 06-6531-2505 FAX. 06-6538-2225

**ユーザー通信オンライン**  
<https://ut-net.jp>

紙面掲載以外の記事はこちらで!

# 新たな工具需要の市場開拓に期待、前向きな取り組み強調

## JTA・松本会長

世界切削工具会議2024(WCTC2024)が、5月21日から24日までの4日間、大阪市北区中之島の大阪国際会議場(グランキューブ大阪)をメイン会場に開催された。

日本での開催は2013年に、アジア圏で初開催となった京都府会館に続いての2回目で、大阪会場には世界17カ国から142名の経営者・技術者の代表が参加した。

WCTCは、欧州団体のECTAの元理事長が発起人となり、米国のUSCTIへの働きかけにより、WCTC(世界切削工具会議)として、1998年4月に米国・フロリダで第1回が開催企画されたもので、今回で第8回となる。日本も第1回開催より、当時の日本工具工業会の代表が参加している。

「設立目的は、わが国機械工具製造業の健全な発達を図り、わが国産業経済の発展に寄与すること。現在は、正会員82社・賛助会員57社が加盟しており、組織的には総会、理事会の基に、コンプライアンス、総務、技術、環境、国際の各委員会を中心に様々な活動を展開している。」

次いで、日本経済の現状や主要産業である自動車や工作機械業界の直近の開発状況、受注・生産等の市場動向を報告したのに続き、国内の切削工具業界の現状について、「国内の生産額は18年度に33.3億ドルの実績をあげたが、コロナ禍の影響で落ち込み、現在は新製品開発や新たな市場開拓等により、回復傾向にある。特に輸出や海外生産など増加傾向にあり、全体的に海外比率が高まっている」と言及。

「24年度は生産額として34億ドル(5千億円)を目標としている。ウクライナや中東情勢などの地政学リスクに加え、原材料価格の高騰など、先行きが見通しは不透明だが、EV化などの産業界での変革の波が進む中、ワーク材料や加工方法など、新たな工具需要の市場開拓に期待し、目標達成へ、前向きに取り組んでいく」と強調した。

次に、欧州、米国、韓国、インドの順に、各業界団体の代表によるレポートが発表された。

この中で、韓国代表のYGI, Hokeun Song社長は、経済成長が低迷する韓国経済の現状について、「人口減少や高齢化に加え、労働時間の制約や休日増などの国内事情と共に、牽引力となってきた電機・電子機器産業の停滞などが要因」と分析。

切削工具業界についても、「国内より輸出割合が多いのが特長だが、生産額は足踏み状態。最近では安価な中国製品が市場に浸透している。主力の自動車産業ではエコカーの需要が増加しているが、EV車よりハイブリッド車のウエイトが高まる見通し。デジタル化の進化などによる市場の変化に対応するために、組織や技術の再編が不可欠となる」と話した。

また、インドのレポートでは、「国の方針として、製造業の拡大を推進しており、『世界の工場』との期待が大きい。人口の3分の2、10億人が35歳未満の若く、ITに強い人材が多い」と成長への勢いをアピールしていた。

この後、スポンサースピーチとして、牧野フライス精機の清水大介社長が登壇。世界最高水準の評価の高い工具研削盤の開発と技術革新の取り組みや、最新の極小径工具研削盤の特長、今後の展開などを紹介した。

引き続き会場では、宇宙ビジネスに取り組みスタートスケールホールディングスの岡田光信創業者兼CEOを講師に、「令和時代の起業家精神」をテーマとした講演会に移った。

WCTC2024は、22日午後からは、MSTC1ポレシオン(奈良県生駒市)の工場見学会等を実施。翌23日は大阪城ツアー、住吉大社特別拝観、最終日24日も講演会などを実施し、閉会式、統計発表で終了した。



▲開催国日本(JTA)松本会長あいさつ



▲ECTA(欧州)団体代表のレポート



▲牧野フライス精機・清水社長によるスポンサースピーチ

# 世界17カ国の代表が大阪に集結！『WCTC2024』世界切削工具会議開催

## インド、成長への勢いアピール 「製造業の拡大を推進」

ユーザー通信オンライン  
<https://ut-net.jp>

紙面掲載以外の記事はこちら！

### 出展社募集中

申し込み締め切り **2024年9月30日(月)**

現場の答えが見つかる  
研削加工の専門展示会

[www.gtj-expo.jp](http://www.gtj-expo.jp)

# SiC, GaN

## 加工技術展 2025

先進パワー半導体  
ウエハ加工技術に  
関する専門展示会

[www.sicgan-expo.jp](http://www.sicgan-expo.jp)

# 2025.3.5(水)~3.7(金) 幕張メッセ

主催 / 日本工業出版 産経新聞社